

「ふれあい講座」～地域の方々から学ぶ～

～仙台市立泉松陵小学校 学校支援地域本部～



泉松陵小学校は、仙台市の北東部に位置し北西に泉ヶ岳、南西には蔵王の山並みが望め、東部には県民の森があります。また、学区の北側は富谷市の丘陵地帯、東側は県民の森に接していて、自然環境に恵まれた静かな環境にあります。

【ふれあい講座とは？】

泉松陵小学校で行われている「ふれあい講座」とは、様々な特技を持っていらっしゃる地域の方々が講師となり、こどもたちと一緒に活動する取組です。その歴史は長く、合併する前の松陵西小学校時代に、当時の校長先生の発案から始まったものでした。例年、10以上の講座が開かれ、今年度は「お琴」「将棋」「フラワーアレンジメント」「昔遊び」「茶道」「木の実クラフト」「太極拳」「バルーンアート」「手芸」「ダンス」「すずめ踊り」「ヨガ」の12講座が用意され、4年生以上のかどもたちが参加していました。

こどもの声

優しく、温かく教えていただきました

「ふれあい講座」の活動の様子



- 地域の皆さんも分かりやすく教えてくれて楽しかったし、昔の遊びや昔は飴を碎いてみんなで分け合って食べるということを学べてよかったです。
- みなさんにはとても温かく接して頂いて、分からぬことなどがあった際に、気軽に声を掛けたりすることができました。
- 講座の人たちがものすごく温かい目で見てくれてすごく楽しくできました。
- 意欲的に講座の活動に参加し、積極的に自分の意見や感想を発言することで、講座を盛り上げることができました。地域の方が講座の運営に困っている場面で、お手伝いをすることができました。
- お琴のやり方を教えてもらっているとき、教えてくれる地域の方に「上手だね」と言ってもらえて、うれしくなりました。

地域の声

みんなが明るく、安心できる街に



泉松陵小学校学校支援地域本部

スーパーバイザー 佐藤 範昭 さん

スーパーバイザー 千葉貴和子 さん

「ふれあい講座」は、学校支援地域本部のスーパーバイザーの方々を中心に運営されています。今回、スーパーバイザーの佐藤さんと千葉さんにお話を伺いました。

佐藤さんは「明るい街にしたいと思います。そのためにも、子どもの笑い声が聞こえるような街にしたいなと思います。朝の登校時に子どもの元気な声が聞こえるとなんとなくホッしますよね。」と話していました。

千葉さんは「地域の方々も子どもたちから力をもらっています。学校に来て、子どもたちと関わることで元気になります。関わってくださる地域の方々、みんなそうですよ。」と話してくださいました。

地域と学校をつなぎ、「みんなが明るく、元気に生活できるように」という強い思いが伝わってきました。

学校の声

地域の方々の温かい関わりが子どもたちの安心感に



渡邊教頭は、「地域の方々と子どもたちの距離がとても近いと感じています。子どもたちは地域の方々に挨拶もするし、顔もよく知っています。地域の方々が温かく関わってくださるので、子どもたちは素直に関わることができます。地域の方々との触れ合いは、多様な価値観に触れるよい機会となっています。」と話してくれました。

また、地域連携担当の遠藤教諭は「子どもたちには、地域の方々がどのように生活し、働いていらっしゃるかというところを、もっと幅広い目で見てほしいと思っているので、このような講座に取り組んでいます。様々な面で、地域の方々に協力していただき、支えられているので、地域に目が行くのではと感じています。」と話してくれました。

地域との積極的な連携と地域の方々の優しさが、子どもたちの安心感につながっていることを改めて実感しました。

【まとめ】

泉松陵小学校では、地域の方々と学校が一緒になって、明るい街づくりに取り組んでいます。地域の方々が子どもたちとのふれあいを大切にすることで、強い信頼関係が出来上がっていました。ふれあい講座を見学させていただき、講師の方も、子どもたちも、楽しそうに笑顔で活動している姿が印象的でした。信頼できる大人がたくさんいることが、子どもたちの安心感につながることを実感しました。笑顔あふれる街づくりに向け、地域と学校の連携は今後も続いていきます。

